



恕の心

10月

令和3年10月12日 校長 廣瀬 真樹

文化祭スローガン決定！



10月28・29日に行われる文化祭のテーマが生徒集会で発表されました。

「笑・和・輪」・・・この言葉には

笑・・・笑顔で

和・・・互いを認め、和み合い

輪・・・そんな時間が輪をめくる

という意味が込められているのだそうです。

相手を認め、許し、思いやる心、一緒に楽しみ笑顔になる・・・こんな素敵な学校、人間関係を作っていくこと・・・先生はただの理想ではなく実現できると思っています。この心はまさにいつも言っている「恕の心」に通じるものだと思います。そしてこの文化祭に向けての取り組みがその実現に向けて大きなきっかけになると私はと思っています。生徒会だけ、一部の人たちだけの頑張りだけでいい文化祭は実現しません。一人一人がこのスローガンを意識し過ごす期間になればと思います。

「感謝」「笑顔」「賞賛」

人間にエネルギーを吹き込むものは「感謝」「笑顔」「賞賛」の3つです。「ありがとう」と感謝されると元気になる。そして「笑顔」を向けられると元気になる。さらに「今日の服は素敵ですね」など、何でもいいから褒められると元気になるのです。

これら3つと反対のことは、「あらさがし」「不機嫌」「不平不満」。これらは周囲の人々のエネルギーを奪います。そんな人にはなりたくないものです。人にエネルギーを吹き込むことができる人の周りには、温かさが満ちていくことでしょう

人の気持ちを冷かしたり元気をなくさせるのは簡単です。

相手の問題点や欠点、弱みなどのあらさがしをし「できない」「ムリ」「難しい」と言ったり、不機嫌そうに思いやりのない冷たい言葉を投げつける。

「(か) 感謝」「(え) 笑顔」「(し) 賞賛」・・・この3つの頭文字をとっておかえしの法則というそうです。「感謝」「笑顔」「賞賛」を投げかければ人は元気になり、エネルギーがたまり、最終的にはそのエネルギーは自分にお返しとして返ってくるものだと思います。

心を成長させる機会は皆さんの普段の学校生活の中にたくさんあります。この話を少しでもいいので心にとどめておいておくと、そのチャンスをつかむことができると思います。

校長コラム 温かさとは

人に話をするとき、「正しいことを言えば、わかってもらえる」とか「これは常識的なことだから」とか「こんなことも分からないの(できないの)」という考えでいたらうまくはいきません。そういう考えで人に話をすると、表情や言い方にすぐに表れます。そしてなによりも人はいつも「正しい」ことではなく「温かいもの」を受け入れるからです。

人間関係が柔らかく温かいものであれば、問題はクリアされていきますが、その人との関係がうまく形成されていなければ、いくら正しいことを主張しても聞き入れてはくれません。説得力を磨くより、「温かく柔らかな人間関係をつくる」という解決方法を覚えておくといいですね。

